



クールジャパンフロンティア toward 2033

目次

クールジャパン官民連携プラットフォームについて	2
本日のプログラム	3
CJPF構成員ご紹介	4
エグゼクティブディレクターメッセージ	7
パネルディスカッション	8



クールジャパン官民連携 プラットフォームについて

クールジャパン戦略を深化させ、官民一体となってクールジャパンに取り組むことを目的として、2015年12月に官民・異業種連携の強化を図る場となる「クールジャパン官民連携プラットフォーム（CJPF）」が設立されました。

新たなクールジャパン戦略に記載している2033年のKGIの達成に向け、本年7月にはCJPFの体制も変更し、新たにエグゼクティブディレクターを設け、クールジャパン関連産業の最先端の動向を知る機会の提供や担い手同士等の交流等により連携や共創が高まる活動をより推進してまいります。

このため、内閣府では官民・異業種連携の今後のさらなる強化を図る場として、2025年10月3日（金）に「クールジャパンフロンティア toward 2033」（主催：内閣府/運営：Vpon JAPAN株式会社）を開催します。

本日のプログラム

11:00 ~

開会挨拶

渡邊 賢一（CJPFディレクター/価値デザイナー）

共同会長からのご挨拶

夏野 剛（近畿大学 特別招聘教授 情報学研究所長）

田中 里沙（学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 学長）

エグゼクティブディレクターからのご挨拶

糸谷 祥輝（TOPPAN株式会社 常務執行役員 情報コミュニケーション事業本部長）

軍地 彩弓（編集者/ファッション・クリエイティブ・ディレクター）

矢野 貴久子（株式会社アイスタイルBeautyTech.jp編集長）

山田 早輝子（一般社団法人日本ガストロノミー学会 代表/株式会社フードロスバンク 代表取締役社長/Sports Doctors Networkアジア代表）

成長分野であるファッション・化粧品分野の今後の海外展開 拡大に向けた取組について

軍地 彩弓（編集者/ファッション・クリエイティブ・ディレクター）

矢野 貴久子（株式会社アイスタイルBeautyTech.jp編集長）

休憩

11:50 ~

大臣のご挨拶

城内 実（内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略））

新たなクールジャパン戦略の推進

中原 裕彦（内閣府知的財産戦略推進事務局長）

パネルセッション

【パネリスト】

河森 正治（アニメーション監督/メカニックデザイナー/ビジョンクリエイター/2025年大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー）

夏野 剛（株式会社KADOKAWA取締役 代表執行役社長 CEO/近畿大学 特別招聘教授 情報学研究所長）

相川 七瀬（歌手）

【モデレーター】

渡邊 賢一（CJPFディレクター/価値デザイナー）

閉会挨拶

田中 里沙（学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 学長）

13:15 ~

ネットワーキング

共同会長



城内 実
内閣府特命担当大臣
(クールジャパン戦略)



夏野 剛
近畿大学 特別招聘教授
情報学研究所長



田中 里沙
学校法人先端教育機構
事業構想大学院大学 学長

シニアアドバイザー



辻 芳樹

学校法人辻料理学館 辻調理師専門学校 理事長・校長

今回、クールジャパン官民連携プラットフォーム（CJPF）ではシニアアドバイザーを務めることになりました、学校法人辻料理学館 辻調理師専門学校の辻芳樹です。

新たなクールジャパン戦略がターゲットとする2033年に向け、さらに日本の魅力を世界に伝えていくためには、本質的価値観と文化的翻訳力と感情的共感の3点が重要です。相手の文化的背景を理解したうえで、日本の本質的な魅力を位置づけ、いかに伝え世界の共感を得るかが大切です。

CJPFの活動を通して、様々な交流の中から2033年に向けてそうした取組が増えていくことを期待しています。

エグゼクティブディレクター



アダム・フルフォード

有限会社フルフォードエンタープライズ 代表取締役会長

イギリス出身、1981年来日、永住者。有限会社フルフォードエンタープライズ代表取締役。日本政府観光局（JNTO）「MICEマーケティングアドバイザー」、ふるさと財団「地域再生マネージャー」、総務省「地域力創造アドバイザー」。貢献型観光や在日外国人の経験や専門性を引き出すフレームワークを提案。NHK関連団体の言語コンサルタントとして数々の番組における翻訳、ナレーション、制作に従事。



糸谷 祥輝

TOPPAN株式会社 常務執行役員

情報コミュニケーション事業本部長

1986年凸版印刷株式会社（現：TOPPAN株式会社）入社。中部事業部で営業部門、企画部門を歴任し2013年より東京へ異動。情報コミュニケーション事業本部 マーケティング本部長を経て、自治体のインフラ構築や社会システムの実装支援に従事。2022年執行役員就任、全社公共事業統括を担当。2023年常務執行役員 情報コミュニケーション事業本部長に就任。



軍地 彩弓

編集者/ファッション・クリエイティブ・ディレクター

大学卒業後、「ViVi」、「GLAMOROUS」等でファッション誌編集者としてキャリアを積む。ギャルブーム、アラサーブームを牽引。その後コンデナスト・ジャパンに入社。「GQ JAPAN」編集長代理、「VOGUE GIRL」クリエイティブディレクターなどを歴任。「Numero TOKYO」などを経て、自身の会社（株）gumi-gumiを設立。情報番組コメンテーター、ドラマ監修、企業コンサルティング等、編集者の枠を超えて活躍。経産省「ファッション未来研究会」副座長、「ファッション・ローWG」座長などを歴任。



松本 梨香

女優/声優/歌手

横浜市出身。女優、声優、歌手などマルチに活躍。大衆演劇の座長である父を持ち、ミュージカルや2.5次元等様々な舞台に立つ一方、演出も務める。アニメや洋画の吹き替えなど多数出演。「ポケットモンスター」では主役を演じ、自身が歌う主題歌はダブルミリオンを記録。スーパー戦隊シリーズでオープニングやエンディングを担当する唯一のシンガー。絵本や著書、エッセイ『ラフ&ピース』（宝島社）も出版。

2024年においては年間の1/3、海外と日本を往来している。

エグゼクティブディレクター



矢野 貴久子

株式会社アイスタイル BeautyTech.jp編集長

雑誌編集者を経て1999年に働く女性のためのメディアcafeglobe.com（現MashingUp.jp）を立ち上げる。2006～2016年までデジタルハリウッド客員教授としてWeb事例研究などを担当。2017年7月より株式会社アイスタイルにてBeautyTech.jp立ち上げ準備に関わり、2018年2月に編集長就任。2019年Japan BeautyTech Awards審査委員、2019年よりEY女性起業家アクセラレータープログラムメンターをつとめる。



山田 早輝子

一般社団法人日本ガストロノミー学会 代表/株式会社フードロスバンク 代表取締役社長/ Sports Doctors Networkアジア代表

LVMHヴーヴ・クリコ「影響力のある女性賞」を受賞。国際ガストロノミー学会日本代表、FOOD LOSS BANK代表、スポーツドクターズネットワーク日本代表を務めるほか、LAを拠点とするSplendent MediaやNJ Creation代表としてエンターテインメント事業も展開。食・環境・スポーツ医学・文化を横断し、国際的に活動している。日本とヨーロッパの文化発展に貢献したとしてスペイン国王より叙勲を受ける。



山田 仁二

株式会社JTB 常務執行役員 ツーリズム事業本部副本部長

全社広域営業推進担当兼東日本エリア広域代表

訪日インバウンドビジネス担当

法人事業をはじめとする多様な事業の責任者を歴任。ラグビーワールドカップ2019ではスポーツマーケティング事業部長として、20カ国のチームと12会場のトータルマネジメントを実施。東京2020オリンピック運営にも深く関与しました。また、全社広域営業担当として全国47支店と連携、地方創生にも貢献しています。4月に常務執行役員に就任、現在はJTB全社の訪日インバウンドビジネスを推進しています。

ディレクター



渡邊 賢一

価値デザイナー/京都芸術大学 客員教授/慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究所 研究員/とちぎ未来大使/XPJP inc、Geo Gastronomy inc CEO

栃木高校 卒業。学習院大学 経済学部 卒業、カリフォルニア大学サンディエゴ校、ワシントン大学ビジネススクールBUSIP修了。KDDI、朝日新聞社、内閣官房地域活性化統合事務局に勤務後、「社会課題の解決」を目的とした価値デザイナーとして独立。

地方創生、離島振興、宇宙、教育、食文化など各分野で行政と連携したソーシャル・アクションを展開。

エグゼクティブディレクター メッセージ

アダム・フルフォード

私の仕事を通じて、日本文化の多様な側面に触れ、学ぶ機会を得てきました。そこから導いた結論は、日本の伝統的な暮らしの中に、個人や家族から国際的な企業、さらには地球規模の共同体に至るまで、あらゆる形のコミュニティの持続可能性を活性化する貴重な手がかりが存在するということです。私の目標は、東アジア文化全般、とりわけ日本文化が、すべての人にとってより良い未来を切り開く道を示す可能性を引き出すことにあります。



糸谷 祥輝

TOPPANは、印刷テクノロジーを核として、コンテンツと多様な産業を結びつけ、新たな価値を創造しています。具体的な取り組みとして、デジタル技術で文化財の魅力を未来へ継承するほか、近年では英国の日本文化イベント「HYPER JAPAN」の運営会社を買収。さらに、IPコンテンツと連携した体験型ショップ「TOPPA!!! BASE AKIBA」を開設するなど、国内外への情報発信を強化しています。これらの事業で培った知見と技術を活かしてクールジャパン戦略に貢献し、日本の魅力を発信する取り組みを、ぜひ一緒にさせていただけますと幸いです。

軍地 彩弓

先日、日本人デザイナー、大月壮士氏がLVMHプライズ2025のグランプリを受賞しました。世界のファッションの現場でも日本人デザイナー、素材、ものづくりの確かさはより注目を集めています。
“クールジャパン”という枠組みの中、IPコンテンツや、エンタメ、食の分野が消費を伸ばす一方、国内のファッション産業はまだまだその波に乗り切れていないように感じます。
日本のものづくりをどう伝えて、今後海外での売り上げをどう伸ばしていくのか？
業界全体が“世界で稼げる”スキームへチェンジするチャンスを生かせるよう、このCJPFで伝えていけたらと思っています。



矢野 貴久子

日本の化粧品、J-Beautyはその歴史やR&Dの信頼性、イノベティブな機能性をもち、昨今のウエルネスやロンジェビティ（長寿）トレンドにおいても世界でさらに注目されるべき要素をもっています。K-Beautyがあれだけの短期間で世界を席巻した理由をひもとき、日本スタイルの戦略実行でJ-Beautyの底上げをはかりつつ、2033年に向けて世界最大の消費者層となるアルファ世代に焦点をあてた施策を行っていくべきと考えています。

山田 早輝子

「クールジャパンフロンティア toward 2033」は、日本の文化とクリエイティビティが世界へ広がるための重要な契機となる場です。Splendent MediaおよびNJ Creation代表としてエンターテインメント事業を手がけ、また国際ガストロノミー学会日本代表として食文化に携わる立場から、ディレクターとして多様な分野のコンテンツをつなぎ、新たな物語の創出に努めています。本フォーラムを通じ、食・環境・スポーツ医学を含む幅広い価値を結び、未来に向けた文化のフロンティアを共に切り拓く一助となれば幸いです。



山田 仁二

当社はインバウンド事業を祖業とし、今日まで110年以上携わってきた歴史があります。昨年策定された「新たなクールジャパン戦略」における目標において、当社が期待される役割は非常に大きいと感じています。先日、当社は「訪日インバウンドVISION 2030」を発表し、パートナーとの連携や積極的な投資による共同事業等を通じ、「訪日外国人旅行者が日本を訪問する目的となりうるサービスやコンテンツ」の開発をより推進していく方針を盛り込みました。これらの展開により、JTBならではの役割を発揮していく所存です。

パネルディスカッション

「クールジャパンの未来——世界に響く”日本らしさ”の設計図」

世界から見た日本の魅力やコンテンツと地域社会・文化のつながり、さらにはクールジャパンの可能性について各業界の実践者である皆様と深掘りします。



相川 七瀬

歌手 / アーティスト
日本ブラジル友好親善大使
栃木県文化財オフィサー



河森 正治

アニメーション監督、メカニックデザイナー、ビジョンクリエイター、
2025年 大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー
代表作：『マクロス』シリーズ、『アクエリオン』シリーズ（原作、監督、
メインメカ）、『攻殻機動隊』、ソニー“AIBO”『ERS-220』（メカデザイン）
など。



夏野 剛

株式会社KADOKAWA取締役 代表執行役社長 CEO
近畿大学 特別招聘教授 情報学研究所長
クールジャパン官民連携プラットフォーム 共同会長



渡邊 賢一

CJPFディレクター
価値デザイナー
クールジャパン プロデューサー
とちぎ未来大使
株式会社XPJP 代表取締役 / 株式会社ジオ・ガストロノミー 代表取締役